



2022年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 メ ド レ ッ ク ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 松 村 米 浩
(コード番号：4586 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 藤 岡 健
経 営 管 理 部 長
(TEL. 03-3664-9665)

「第三者割当による新株式及び行使価額修正条項付第17回新株予約権（行使指定条項付）」

及 び

「第三者割当による行使価額修正条項付第20回及び第21回新株予約権」

の支出予定時期変更に関するお知らせ

当社は、2021年5月18日に公表いたしました「『第三者割当による第15回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行』及び『第三者割当による新株式の発行及び行使価額修正条項付第17回新株予約権（行使指定条項付）の発行』に関する資金使途の変更に関するお知らせ」及び2022年2月10日に公表いたしました「第三者割当による行使価額修正条項付第20回及び第21回新株予約権の資金使途、金額変更及び支出予定時期変更に関するお知らせ」において開示致しました支出予定時期について、それぞれ下記のとおり変更いたしましたので、お知らせいたします。

記

I. 第三者割当による新株式の発行及び行使価額修正条項付第17回新株予約権（行使指定条項付）の発行で調達した資金の支出予定時期の変更

1. 変更の理由、経緯

当社は、2021年5月18日に公表いたしました「『第三者割当による第15回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行』及び『第三者割当による新株式の発行及び行使価額修正条項付第17回新株予約権（行使指定条項付）の発行』に関する資金使途の変更に関するお知らせ」において、第三者割当による新株式及び第17回新株予約権について①マイクロニードル治験薬工場に関する増強設備投資：病原性のある細菌やウイルス、遺伝子組み換え生物等の使用に向けて「拡散防止等のバイオセーフティ対策」を中心とした設備増強に132百万円、②MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）開発における「誤用事故防止機能」ラベル獲得のための試験費用に795百万円を充当予定にしておりました。①については既に132百万円全額を充当済みで、②については309百万円を充当済みです。残りの調達額486百万円については、②に充当する予定時期を「2021年1月～2021年12月」から「2021年1月～2022年12月」に変更しました。支出予定時期を延長するのは、②の臨床開発が当初計画よりも遅延しているためです。

2. 変更の内容

資金予定時期の変更内容は以下の通りとなっております。

なお、変更箇所は下線で表示し、変更後の金額における充当済金額を()で内記しました。

変更前

具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
① マイクロニードル治験薬工場に関する増強設備投資：病原性のある細菌やウイルス、遺伝子組み換え生物等の使用に向けて「拡散防止等のバイオセーフティ対策」を中心とした設備増強	132	2020年8月～2021年3月
② MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤(フェンタニルテープ剤)開発における「誤用事故防止機能」ラベル獲得のための試験費用	795	<u>2021年1月～2021年12月</u>
合計	927	

変更後

具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
① マイクロニードル治験薬工場に関する増強設備投資：病原性のある細菌やウイルス、遺伝子組み換え生物等の使用に向けて「拡散防止等のバイオセーフティ対策」を中心とした設備増強	132 (132)	2020年8月～2021年3月
② MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤(フェンタニルテープ剤)開発における「誤用事故防止機能」ラベル獲得のための試験費用	795 (309)	<u>2021年1月～2022年12月</u>
合計	927 (441)	

3. 今後の見通し

本件変更が当期の業績に与える影響は軽微であります。

II. 第20回及び第21回新株予約権の発行で調達した資金の支出予定時期の変更

1. 変更の理由、経緯

2022年2月10日に公表いたしました「第三者割当による行使価額修正条項付第20回及び第21回新株予約権の資金使途、金額変更及び支出予定時期変更に関するお知らせ」で、①感染症に対するワクチン等のMN製剤の実現可能性を検討する動物試験に285百万円、② MRX-6LDT：慢性疼痛治療薬（ジクロフェナック・リドカインテープ剤）の初期開発に7百万円、③ CPN-101（MRX-4TZT）：痙性麻痺治療薬（チザニジンテープ剤）の臨床第2相試験を実施するための準備費用に87百万円、④ MRX-5LBT “Lydolyte”：帯状疱疹後神経疼痛治療貼付剤の追加試験・再申請に要する費用に158百万円、⑤運転資金に256百万円を充当予定にしておりました。現時点で、①に109百万円、②に7百万円、③に87百万円、④に19百万円、⑤に256百万円を充当済みです。残りの調達額315百万円については、①に176百万円、④に139百万円を充当予定ですが、①について支出予定時期を変更しました。④については予定通り2022年12月までに充当予定です。

2. 変更の内容

資金予定時期の変更内容は以下の通りとなっております。

なお、変更箇所は下線で表示し、変更後の金額における充当済金額を()で内記しました。

(変更前)

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
① 感染症に対するワクチン等のMN製剤の実現可能性を検討する動物試験	285	<u>2021年6月～2022年5月</u>
② MRX-6LDT：慢性疼痛治療薬（ジクロフェナック・リドカインテープ剤）の初期開発	7	2021年6月～2021年12月
③ CPN-101（MRX-4TZT）：痙性麻痺治療薬（チザニジンテープ剤）の臨床第2相試験準備費用	87	2021年9月～2022年4月
④ MRX-5LBT “Lydolyte”：帯状疱疹後神経疼痛治療貼付剤の追加試験・再申請に要する費用	158	2022年2月～2022年12月
⑤ 運転資金	256	2022年2月～2022年7月
合計	793	—

(変更後)

具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
① 感染症に対するワクチン等のMN製剤の実現可能性を検討する動物試験	285 (109)	<u>2021年6月～2023年5月</u>
② MRX-6LDT：慢性疼痛治療薬（ジクロフェナック・リドカインテープ剤）の初期開発	7 (7)	2021年6月～2021年12月
③ CPN-101 (MRX-4TZT)：痙性麻痺治療薬（チザニジンテープ剤）の臨床第2相試験準備費用	87 (87)	2021年9月～2022年4月
④ MRX-5LBT “Lydolyte”：帯状疱疹後神経疼痛治療貼付剤の追加試験・再申請に要する費用	158 (19)	2022年2月～2022年12月
⑤ 運転資金	256 (256)	2022年2月～2022年7月
合計	793 (478)	—

3. 今後の見通し

本件変更が当期の業績に与える影響は軽微であります。

以 上